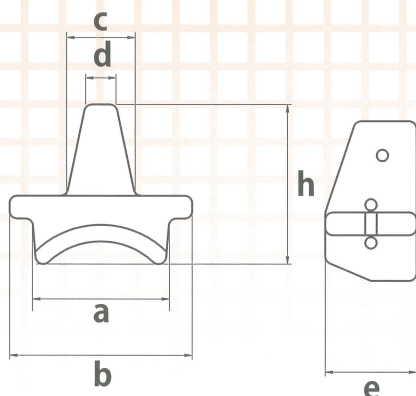


横浜市立大学式腰椎スぺーサー

監修：横浜市立大学附属病院 脳神経外科 村田 英俊 先生

製品外観



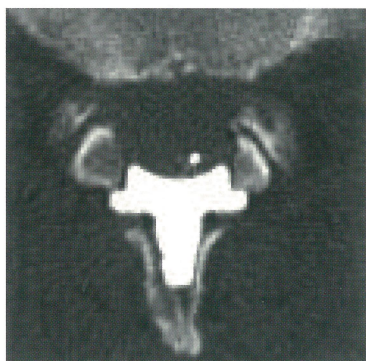
品番	a	b	c	d	h	e
L4-253-FZ-035-18	18	24	9	4	21	12
L4-253-FZ-036-20	20	26	10			
L4-253-FZ-037-22	22	28	11			
L4-253-FZ-038-24	24	30	12			

Feature & Benefit

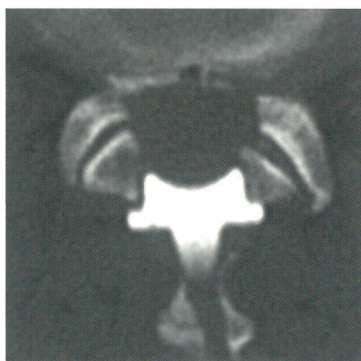
- 後方筋層群を温存した椎弓形成術が可能
- 腰椎・胸椎の形状に合わせたアナトミカルな形状
- 一回の締結で腰椎への設置が可能

Clinical Data

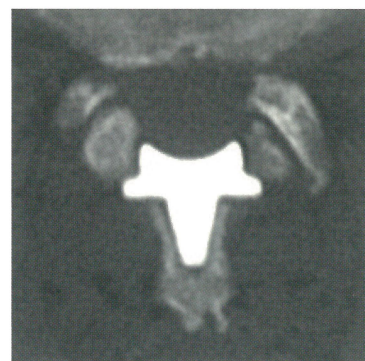
CT画像



術直後



術後1ヶ月



術後1年

多裂筋の術前・術後の比較



術前



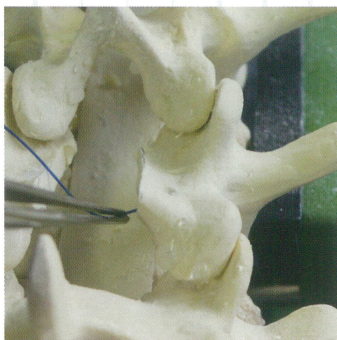
術後1年

(黄色点線部分)の
傍脊柱筋群が温存できている

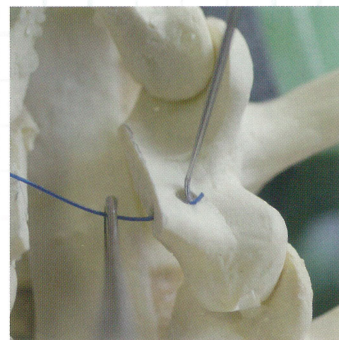
スパーサー締結手順



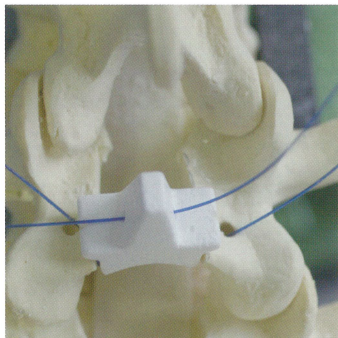
①直角鋭匙を用いて骨孔同士を交通させる。



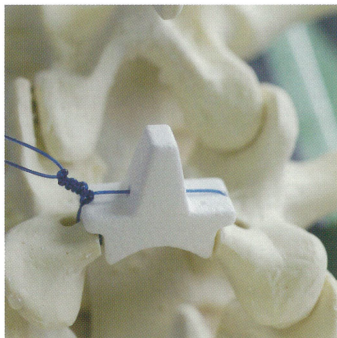
②先端をきこいてクセをつけたナイロン糸を脊柱側より骨孔に入れる。



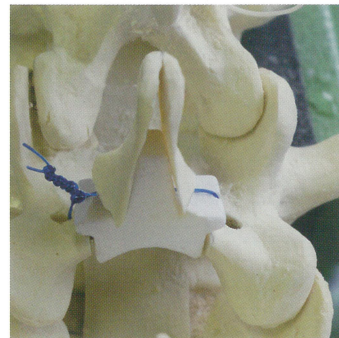
③骨孔にゾンデを入れ、ナイロン糸を引き上げる。



④スパーサー中段の糸孔にナイロン糸を通す。

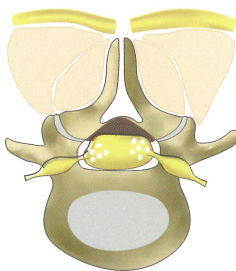
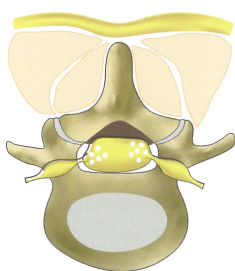


⑤外科結びでスパーサーを固定する。

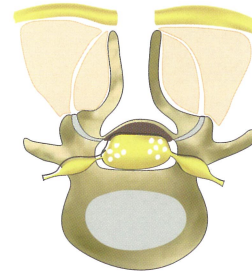


⑥棘突起に付着させたまま温存した筋層群をスパーサー上段に固定する。

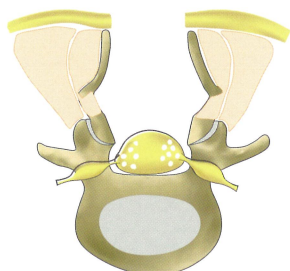
手術展開模式図



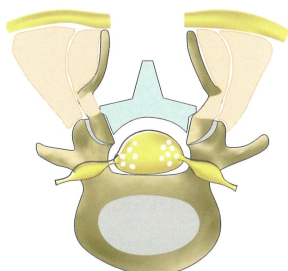
左右の筋層を温存しながら棘突起を正中縦割する。



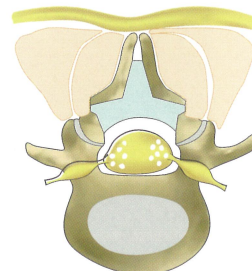
可能な限り多くの棘突起が残るように（黄色靱帯が透見できる程度まで）トランペット状に削開する。



筋層とともに棘突起を分離し、椎弓を露出する。スパーサートライアルを合わせて、骨削除範囲を決める。黄色靱帯を除去、十分に硬膜を露出する。



除圧操作、摘出操作を終えたのち、トライアルを合わせ、至適サイズを選択する。2号ナイロンでスパーサーを締結する。



分離した棘突起を2号絹糸でスパーサーに締結する。硬膜外にドレーンを留置した後、棘間、棘上靱帯を密に縫合し、閉創する。

製造販売業者

HOYA Technosurgical 株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-4
TEL 03-5369-1710 FAX 03-5369-1711

URL www.hoyatechnosurgical.co.jp

※仕様、形状は一部変更することもあります。
※掲載の写真・形状図は実物大ではございません。

ご注文先

益子工場

〒321-4292 栃木県芳賀郡益子町大字塙858
TEL 0285-72-6253 FAX 0285-72-6259